

「観光関連事業者景況調査（10～12月分）」報告書

調査概要

- ・本調査は、するが企画観光局が3か月に1度実施する静岡県中部5市2町の観光ビジネスに関わる事業者に対する景況調査。対象事業者へ調査票を送付し、郵送またはWEBで回答。
- ・調査期間は、1月20日発送・2月19日回答分までを集計。
- ・回答状況は、発送先の310事業所のうち137事業所から回答を得た。（回答率：44.2%）
- ・回答構成比は、設問ごとに有効回答数を分母にして計算している。（未記入等の回答は除外）
- ・表内の数字は指数（STI※）で示している。

当期（2024年10～12月）の景況感

- ・当期の景況感は+1.9と、猛暑や台風、南海トラフ地震臨時情報などの影響が大きかった前期（7～9月）からはプラスとなった。
- ・前年同期と比べた当期の景況感は+3.3と、2022年3月からプラスが続く。業態別では、マイナスの業態はなかったが、飲食店が±0だったほか、観光・体験、土産・小売もほぼ横ばい。市町別ではまだら模様。
- ・当期と比べた来期（1～3月）の景況感は▼8.5と、マイナス見通し。業態別では、5業態すべてがマイナスで、とくに土産・小売と交通のマイナス幅が大きかった。

項目	2024年 7～9月	2024年 10～12月	前期からの推移
1. 前期と比べた当期の景況感	+ 2.5	+ 1.9	▼ 0.6 ポイント
2. 前年同期と比べた当期の景況感	+ 0.2	+ 3.3	+ 3.1 ポイント
3. 当期と比べた来期の景況感の見通し	+ 0.4	▼ 8.5	▼ 8.9 ポイント

※…STI（Suruga Tourism business Index） 静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「同程度」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

1. 前期と比べた当期の景況感

(1) 業態別・市町別の景況感

(全体) 10～12月の景況感は+1.9と、猛暑や台風、南海トラフ地震臨時情報などの影響が大きかった前期からはプラス

(業態) 夏休みが終わり、観光・体験はマイナスだったが、他の4業態はプラス

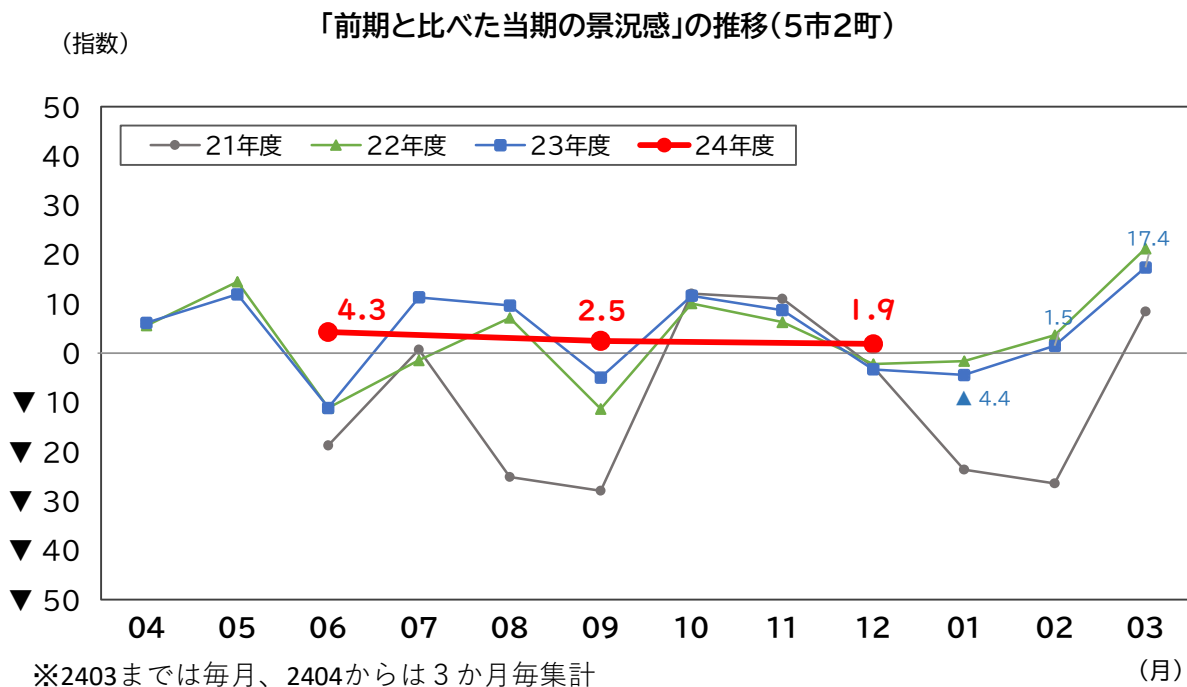
(地域) 静岡市と焼津市がプラス、島田市は横ばいだが他の4市町はマイナス

◆ 前期と比べた当期の景況感 (STI)

10～12月 (前期比)	業態別	観光・体験		宿 泊		飲食店		土産・小売		交 通			
		▼ 5.2		+	5.7	+	3.1	+	5.0	+	10.4		
+ 1.9	地域別	静岡市		島田市		焼津市		藤枝市		牧之原市		吉田町	川根本町
		+	7.2	±	0.0	+	6.3	▼	5.8	▼	11.4	▼	12.5

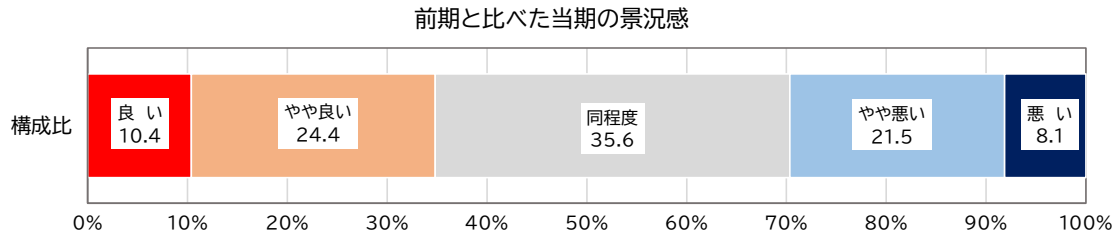
(2) STIの推移 (2021年6月～)

- ・前期と比べたSTI +1.9は、前回調査 (7～9月、+2.5) より低い水準だったものの、引き続きプラス。
- ・前年同時期の平均STI +5.7 (3か月の単純平均) は▼3.8ポイント下回った。



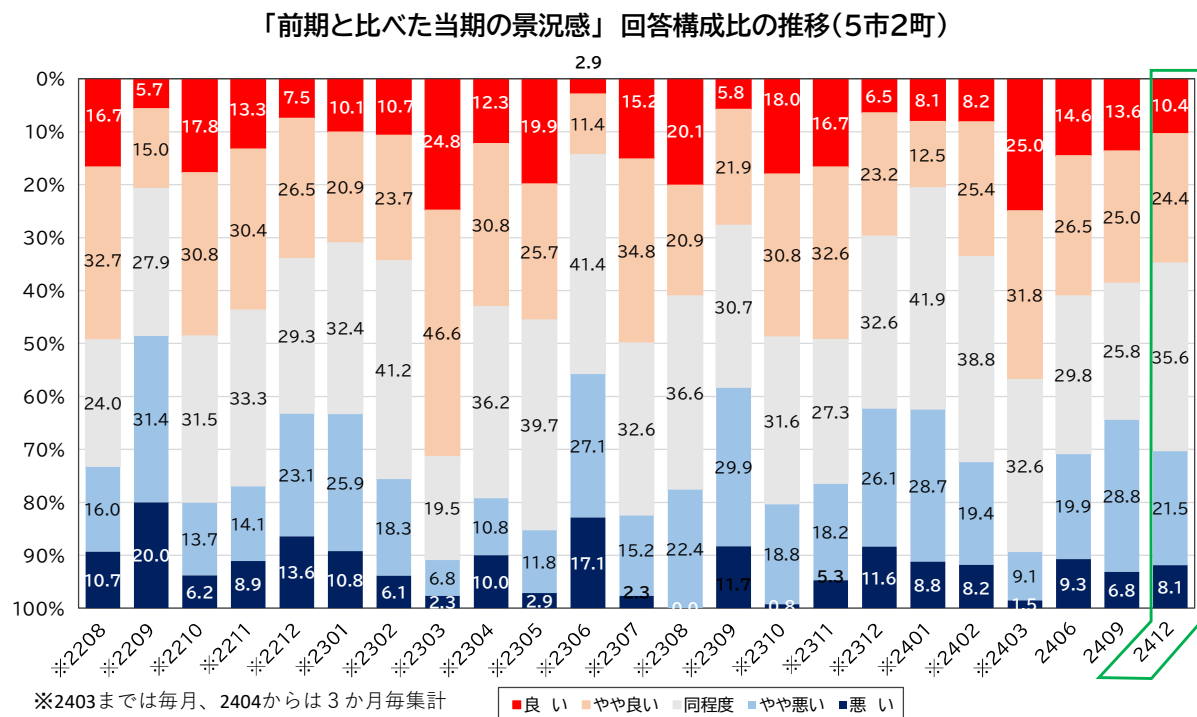
(3) 回答構成比

- ・「同程度」が最も多く35.6%。「良い」(10.4%)と「やや良い」(24.4%)の合計は34.8%と改善判断は3割強。
- ・「悪い」(8.1%)と「やや悪い」(21.5%)の合計は29.6%で、悪化判断は3割弱。



(4) 回答構成比の推移

- ・「良い」と「やや良い」の合計34.8%は、前回から▼3.8ポイント減少。「悪い」と「やや悪い」の合計29.6%は同▼6.0ポイント減少した一方で、「同程度」は35.6%と前回から+9.8ポイント増加した。



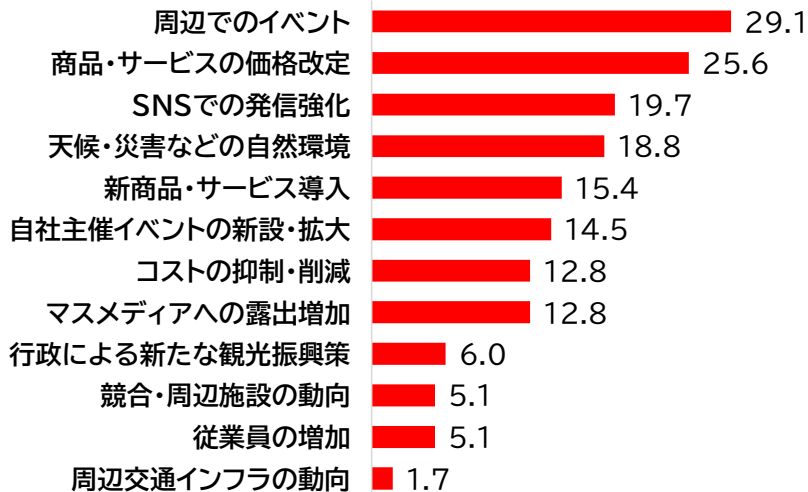
(5) 前期と比べた景況感に影響を与えた要因

① プラスの影響を与えた要因

- ・景況感にプラスの影響を与えた要因としては、「周辺でのイベント」(29.1%)が最も多く、次いで「商品・サービスの価格改定」(25.6%)、「SNSでの発信強化」(19.7%)だった。

当期の景況感にプラスの影響を与えた要因

(%)



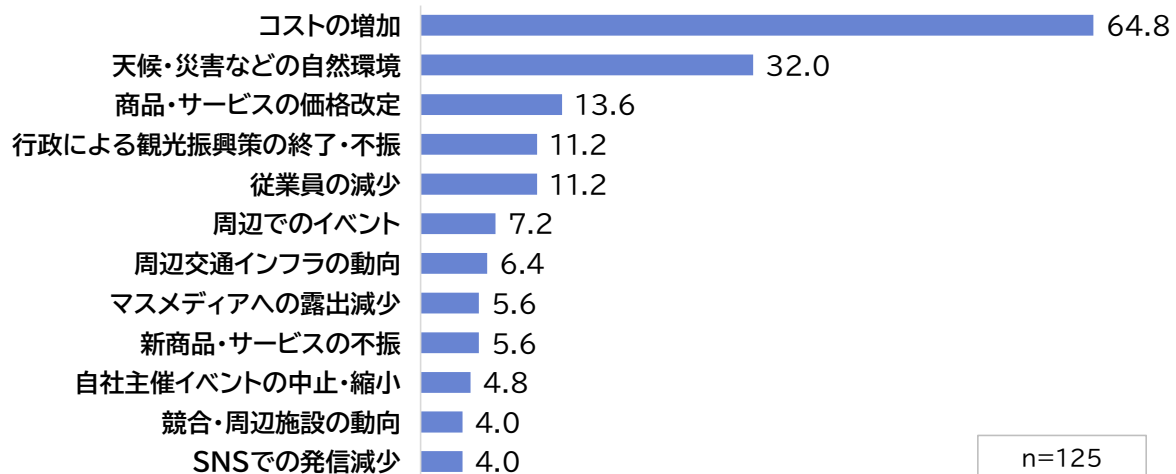
n=117

② マイナスの影響を与えた要因

- ・景況感にマイナスの影響を与えた要因としては、原燃料や光熱費などの「コストの増加」(64.8%)が最も多く、前回から+14.4ポイント増加した。一方、次いで多かった「天候・災害などの自然環境」(32.0%)は、前回比▼35.0ポイントと大幅に減少した。

当期の景況感にマイナスの影響を与えた要因

(%)



n=125

(6) 前期と比べた当期の業績

(全体) 10～12月の業績は、来客数がマイナスも客単価がプラスで売上高はプラス。ただし、コストが上昇しており利益はマイナス

(業態) 売上高は観光・体験のみマイナス、コストは全業態でプラスとなり、利益は全業態でマイナス

(地域) 静岡市、焼津市は売上高がプラスだったが、他の5市町はマイナス。利益がプラスだったのは静岡市のみで、6市町がマイナス

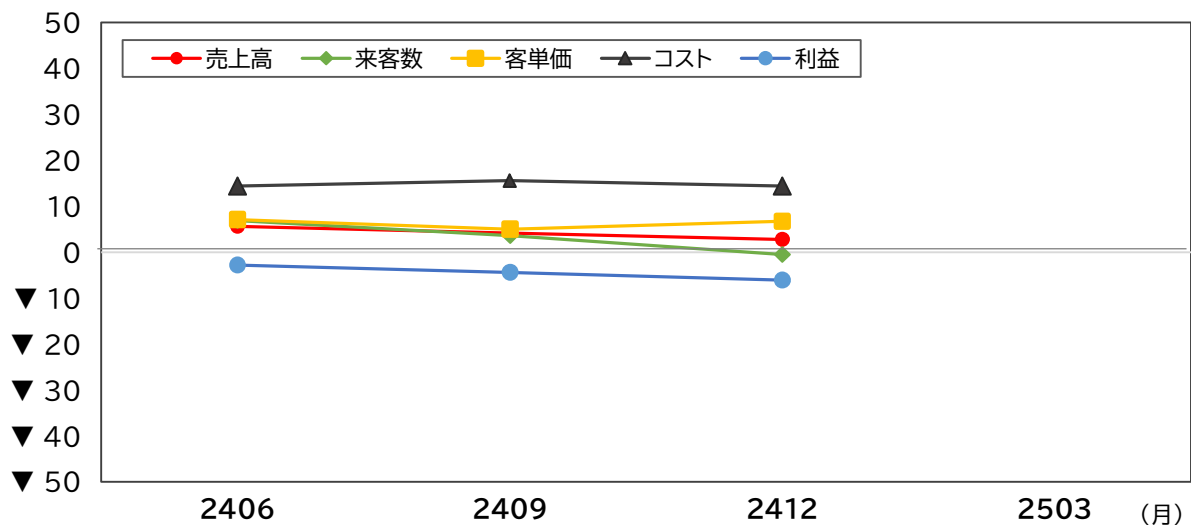
◆前期と比べた当期の業績 (S T I)

	全 体	業 態 別				
		観光・体験	宿 泊	飲食店	土産・小売	交 通
売上高	+ 2.8	▼ 4.3	+ 6.8	+ 4.7	+ 3.3	+ 11.5
来客数	▼ 0.5	▼ 7.1	+ 1.7	+ 4.7	+ 5.0	+ 3.8
客単価	+ 6.7	+ 2.7	+ 14.2	+ 1.6	▼ 1.7	+ 11.5
コスト	+ 14.4	+ 6.4	+ 20.5	+ 15.6	+ 18.3	+ 17.3
利 益	▼ 6.1	▼ 8.5	▼ 1.7	▼ 10.9	▼ 10.0	▼ 1.9

	市 町 別						
	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
売上高	+ 12.3	▼ 3.8	+ 6.3	▼ 5.8	▼ 18.2	▼ 6.3	▼ 22.2
来客数	+ 6.1	▼ 3.8	+ 2.4	▼ 7.7	▼ 13.6	▼ 6.3	▼ 22.2
客単価	+ 11.9	+ 5.8	+ 6.3	+ 3.8	▼ 2.3	▼ 6.3	▼ 8.3
コスト	+ 14.6	+ 28.8	+ 13.8	+ 23.1	▼ 2.3	+ 37.5	▼ 8.3
利 益	+ 1.2	▼ 13.5	▼ 5.0	▼ 13.5	▼ 11.4	▼ 18.8	▼ 27.8

(指数)

「前期と比べた業績」の推移(5市2町)



2. 前年同期と比べた当期の景況感

(1) 業態別・市町別の景況感

(全体) 前年同期と比べた景況感は+3.3とプラス

(業態) マイナスの業態はなかったが、飲食店が±0だったほか、観光・体験、土産・小売もほぼ横ばい。

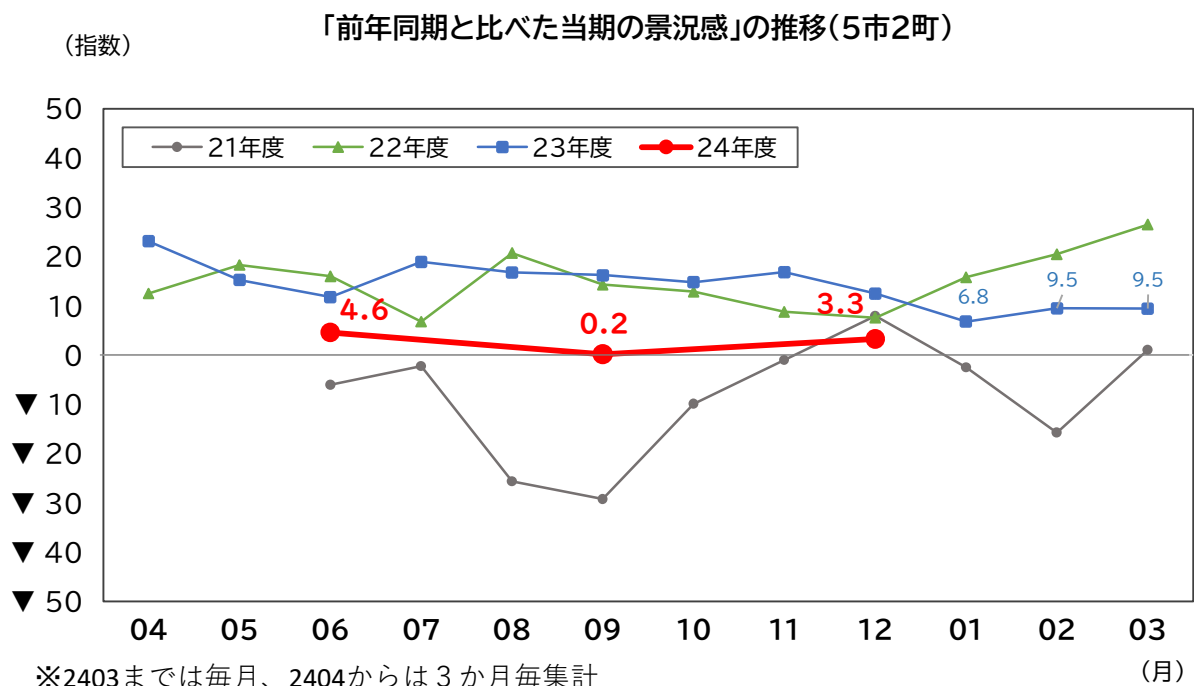
(地域) 2市がプラス、2市町が横ばい、3市町がマイナスとまだら模様

◆前年同期と比べた当期の景況感（STI）

10～12月 (前年同期比)	業態別	観光・体験	宿 泊	飲食店	土産・小売	交 通		
		+ 1.0	+ 5.7	± 0.0	+ 3.3	+ 7.7		
+ 3.3	地域別	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
		+ 6.8	▼ 3.8	+ 11.3	▼ 7.7	± 0.0	± 0.0	▼ 8.3

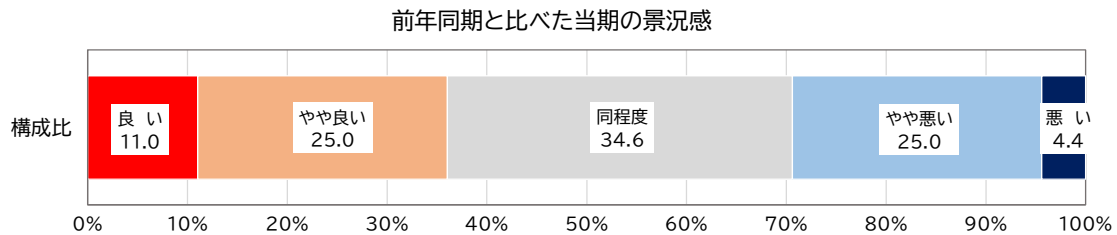
(2) STIの推移（2021年6月～）

- ・前年同期と比べたSTIは+3.3で、2022年3月からプラスが続いている。
- ・ただし、前年同時期の平均STI +14.7（3か月の単純平均）を▼11.4ポイント下回るなど、指数の水準は低下している。



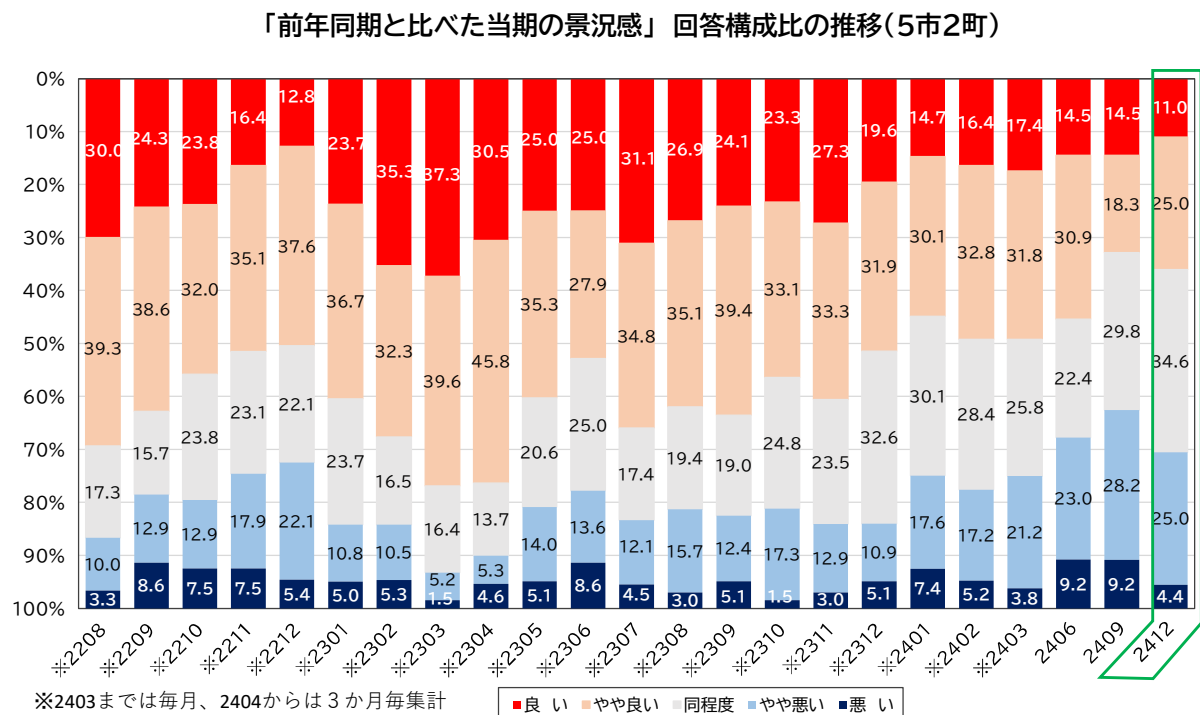
(3) 回答構成比

- ・「良い」 11.0%、「やや良い」 25.0%で合計36.0%と改善判断は3割超。「同程度」も34.6%で3割超。
- ・「悪い」 4.4%、「やや悪い」 25.0%で、悪化判断は29.4%で、改善判断が上回った。



(4) 回答構成比の推移

- ・「良い」と「やや良い」の合計 36.0%は、前回から+3.2ポイント増加。「同程度」34.6%も同+4.8ポイント増加した。
- ・一方、「悪い」と「やや悪い」の合計 29.4%は同▼8.0ポイント減少した。



3. 当期と比べた来期の景況感の見通し

(1) 業態別・市町別の景況感の見通し

(全体) 1～3月の景況感の見通しは、閑散期を見越して▼8.5とマイナス

(業態) 5業態すべてがマイナス、とくに土産・小売、交通は2ケタマイナス

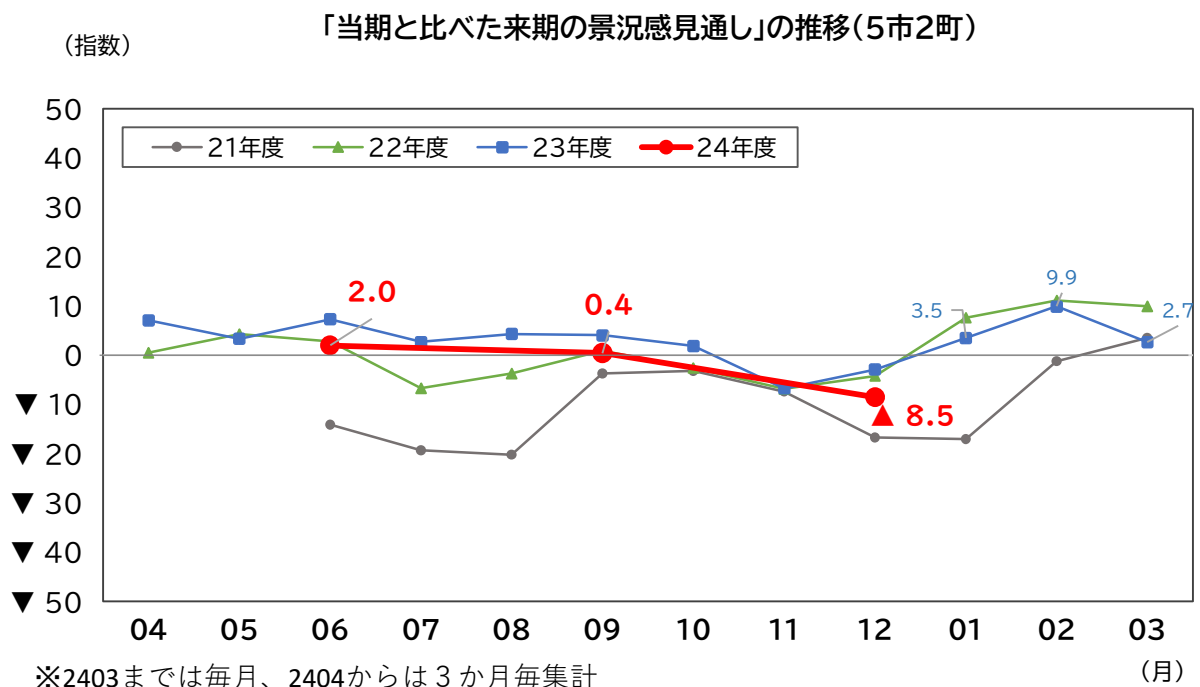
(地域) 3市町が横ばい、4市町がマイナス。川根本町は、季節要因に加え、アニメコラボイベント終了の影響等で見通しが大幅に悪化

◆1～3月の景況感の見通し (STI)

1～3月 (当期比)	業態別	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通		
		▼ 5.7	▼ 6.3	▼ 4.7	▼ 20.0	▼ 17.3		
▼ 8.5	地域別	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
		▼ 9.1	± 0.0	▼ 7.5	▼ 5.8	± 0.0	± 0.0	▼ 36.1

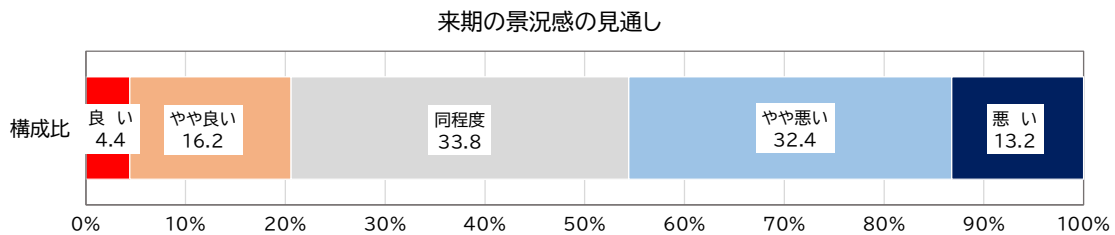
(2) STIの推移 (2021年6月～)

- ・見通しを示すSTI ▼8.5は、前年同時期の平均STI ▼2.6 (3か月の単純平均) を▼5.9ポイント下回った。



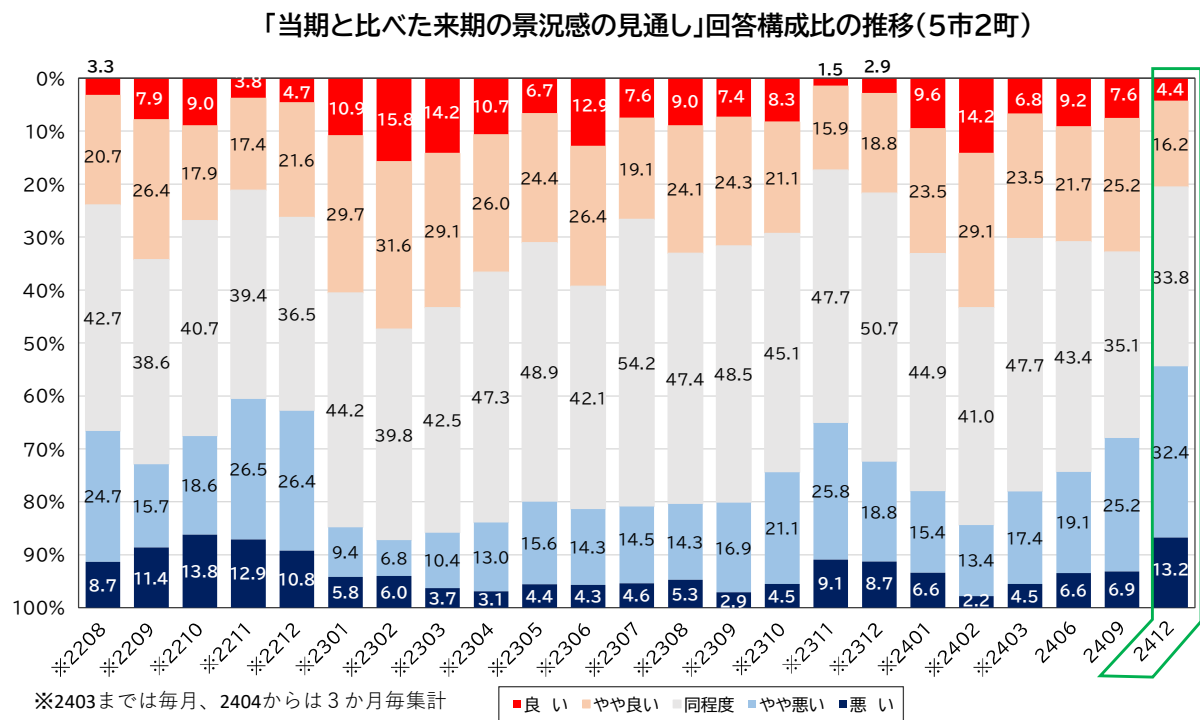
(3) 回答構成比

- ・最も多かったのは「同程度」の33.8%で、「良い」(4.4%)と「やや良い」(16.2%)の合計は20.6%と改善判断は約2割にとどまった。
- ・一方、「悪い」(13.2%)と「やや悪い」(32.4%)の合計は45.6%で、半数近くが悪化判断となった。



(4) 回答構成比の推移

- ・「良い」と「やや良い」の合計20.6%は、前回から▼12.2ポイント減少。「同程度」も同▼1.3ポイントとわずかに減少した。
- ・「悪い」と「やや悪い」の合計45.6%は、前回から+13.5ポイント増加した。



(参 考)

10月の出来事

	出来事
平年	・10月は、気候が温暖で晴天に恵まれやすい観光シーズン ・1964年の東京五輪を記念して10/10は「体育の日」で祝日（現 スポーツの日）
2019年 (コロナ前)	・台風19号が静岡県に上陸し、大型商業施設の臨時休業や交通機関の運休が相次ぐ ・10/1から消費税率が10%に引き上げ ・10/4・9・11に県西部（エコパスタジアム）でラグビーワールドカップ2019の3試合が開催、駿府城公園にはファンゾーン設置 ・10/20清水港に乗客542名の客船「シルバー・ミューズ」が寄港 ・10/26に富士山静岡空港、大井川鐵道、F D A 3社連携による富士山遊覧飛行を目玉とするツアーが開催
2020年 (コロナ禍)	・10/1より「G o T o トラベル」の対象に東京発着が追加 ・10/1より駿河湾フェリーが運賃半額キャンペーン（～1/31） ・10/15、5市2町が対象の「G o T o スタンプラリー」実施（～12/13） ・中部横断自動車道整備促進県中部地域協議会が、ドライブ客向けの観光冊子「しずおかプチトリップ」を配布 ・10月のコロナ感染者数 115人（NHK）
2021年 (コロナ禍)	・緊急事態宣言の解除により、観光施設等が約40日ぶりに営業再開 ・10/2、駿河湾フェリーが運賃半額キャンペーン（10,394人、前年比▼14.9%） ・10/9から「G o T o イート」の利用自粛要請を解除、第2弾を10/15から発行 ・10/18より「バイ・シズオカ～今こそ!しずおか!!元気旅!!!」が再開（静岡市では連動したスタンプラリー、焼津市と藤枝市はクーポン発行） ・投票日だけでなく、選挙期間中も観光客が減少すると言われる国政選挙（参議院議員補欠選挙（10/24）、衆議院総選挙（10/31））実施 ・10月のコロナ感染者数は146人（NHK）
2022年 (コロナ禍)	・一時、1ドル＝150円を越す円安、エネルギーや原材料等の輸入コストが一段と上昇 ・10/8～10にかけて「島田大祭（帯まつり）」が開催 ・10/10、5市2町が対象の「G o T o スタンプラリー」実施（～12/11） ・10/11より静岡県が「今こそしずおか元気旅（全国旅行支援）」を実施 ・10/11より静岡県が「しずおか食ベトクキャンペーン」を実施 ・10/20～23にかけて「世界お茶まつり2022秋の祭典」が静岡市で開催 ・台風15号の影響で大井川鐵道本線の運休が続き、川根本町の観光に大きな打撃 ・10月のコロナ感染者数は26,495人（新基準、NHKがまとめた静岡県等の公表値）
2023年 (コロナ後)	・島田市・川根本町で、LINEクーポン実施（島田市11/19まで、川根本町10/24まで） ・10/1より大井川鐵道は、運休していた家山～千頭間のうち、家山～川根温泉笹間渡間の運行を再開（2.9km/22.4km） ・10/6～8、藤枝大祭りが4年ぶりに開催 ・10/14～11/26、「駿河 東海道おんぱく」開催（全50プログラム、うち10月開催25） ・10/21藤枝市で「朝比奈大龍祭」が5年ぶりに開催 ・10/28、29、静岡市の広野海岸公園で「ハミングバード2024秋」が開催
2024年 (コロナ後)	・10/7～、富士山静岡空港を起点に市内各地の謎解きスポットを巡る「叶えよ!英雄たちの願い」を開始（2025年1月10日まで） ・10/11～、『ゆるキャン△』×静岡県 スタンプラリー」開催。県内の観光スポット40カ所を巡るデジタルスタンプラリー（2025年2月まで） ・10/18、9月の落石による寸又峡プロムナードの通行止めが解除 ・10/27、焼津漁港で「鮪フェス」を初開催したほか、同日から市内18店舗が参加する「鮪めぐり&焼津鰯三昧」（～11/26まで）も開催

(参 考)

11月の出来事

	出来事
平年	・11月は祝日が2日ある（11/3文化の日、11/23勤労感謝の日） ・比較的晴天の日が多く、紅葉も見ごろを迎える“行楽シーズン”に当たる
2019年 (コロナ前)	・11/1～4「大道芸ワールドカップ」が開催、172万人が来場 ・焼津市で「小川港さば祭り」が開催 ・日本平の茶園に「全景茶の間」設置 ・志太地域3市1町が「台北国際旅行博」で志太地域をPR
2020年 (コロナ禍)	・「Go To トラベル」の実施継続 ・11/4清水港にクルーズ船「飛鳥II」が寄港 ・11/12「KADODE OOI GAWA」がオープン ・静岡県がキャンプを題材にしたアニメ「ゆるキャン△」による観光振興策を発表 ・静岡ホビーショーの人気企画を代替する「静岡モデラーズ合同展示会」が開催 ・11月のコロナ感染者数 1,012人（NHK）
2021年 (コロナ禍)	・「バイ・シズオカ～今こそ!しずおか!!元気旅!!!～（県民割）」実施中 ・蓬萊橋右岸「水辺イベント」が開催 ・「産業フェアしずおか2021」が開催 ・「第75回全国お茶まつり」のイベント（審査会・入札販売会）が静岡市で開催 ・中日本高速道路が、高速道路を最大約5割引で利用できる周遊パスと1万円の宿泊商品券をセットにした「静岡・山梨共通宿泊商品券付ドライブプラン」を販売 ・県が、静岡・山梨・長野・新潟を対象にした教育旅行支援を開始 ・11月のコロナ感染者数 42人（NHK）
2022年 (コロナ禍)	・「今こそしずおか元気旅（全国旅行支援）」実施中 ・「しずおか食ベトクキャンペーン」実施中 ・島田市観光協会が地域DMOの候補法人に認定される ・11/5～6「大道芸ワールドカップ」が3年ぶりに開催、2日間で69万人が来場 ・大井川鐵道本線の復旧工事が難航、11月中は全線不通 ・川根本町が町内宿泊客を対象とした観光促進キャンペーンを実施 ・川根本町千頭の寸又峡温泉街に県産ヒノキを使ったサウナ施設が開業 ・11月のコロナ感染者数 56,670人（新基準、NHKがまとめた静岡県等の公表値）
2023年 (コロナ後)	・静岡市葵区梅ヶ島でサウナ付きドライブイン施設が開業 ・11/2～5、「大道芸ワールドカップ」が4日間のフル開催で118万人が来場 ・富士山遊覧飛行とSL、アプト式鉄道を楽しめる日帰りツアーが開催 ・11/10、エスパルスドリームプラザの隣接地に、飲食店やカジュアル衣料店が入る新棟「PARK-side」がオープン ・11/17～19、静岡市内の25社が工場見学や実演体験を行う「ファクハク～静岡工場博覧会2023」が開催 ・11/26、島田市役所旧庁舎のお別れイベントとして、プロジェクションマッピングやサバイバルゲームなどが開催
2024年 (コロナ後)	・11/1～4、「大道芸ワールドカップ」が開催、雨天もあったが推計83.7万人が来場 ・11/10、焼津漁港で「魚フェス」を開催。カツオのたたき5,000食の無料配布のほか、巡視船「おきつ」や調査船「駿河丸」を一般公開 ・11/23、大井川鐵道青部駅で「青部駅マルシェ」開催。2022年9月以降不通となっている千頭～青部駅間を井川線の車両が走行 ・11/27～、「するがヌーン茶」が開始（2025年2月まで）。新規参加7店舗を含む29店舗が参加

(参 考)

12月の出来事

	出来事
平年	・12月は、製造業を中心に仕事納めとして28日頃から休みになる会社がある ・晴天の日が多いものの、気温が低く屋外レジャーには不向きな季節 ・気温が下がり薄氷が張る日もある、平野部では木々が色づく
2019年 (コロナ前)	・年末は静岡市葵区梅ヶ島地区や焼津市で宿泊施設の稼働率70～90% ・静岡産業大学の学生が富士山静岡空港周辺のプロモーションビデオを制作 ・静岡鉄道が日本平ロープウェイのゴンドラを刷新
2020年 (コロナ禍)	・大井川地域が農林水産省の「農泊 食文化 海外発信地域」に選ばれる ・「G o T o トラベル」が12/28から停止 ・大井川鐵道が年末年始のSL「かわね路」号の運休を発表 ・12月のコロナ感染者数 1,013人 (NHK)
2021年 (コロナ禍)	・清水港周辺でレンタサイクルを使った周遊促進キャンペーンを開始 ・大井川流域でのサイクリングの魅力を発信するイベント「RIDE OOIGAWA」が開催 ・焼津市内を中心とした飲食店15店舗で「勝魚かつプロジェクト」がスタート ・清水港に客船「にっぽん丸」が寄港 ・12月のコロナ感染者数 109人 (NHK)、27日に変異株 (オミクロン株) が県内で初めて確認
2022年 (コロナ禍)	・「今こそしずおか元気旅 (全国旅行支援)」実施中 (12/27まで) ・「しずおか食ベトクキャンペーン」実施中 ・静岡県がAIを活用して観光アプリ内で周遊ルートを提案する事業「しず旅スタンプラリー」を開始 ・大井川鐵道の金谷～家山間が3か月ぶりに運転再開 (家山～千頭は不通のまま) ・12月のコロナ感染者数 120,659人 (新基準、NHKがまとめた静岡県等の公表値)
2023年 (コロナ後)	・大井川鐵道が、前月の事故発生を受けて一部列車の運行取りやめ ・12/15～県中部エリアの製茶問屋やカフェ24店舗で「するがヌーン茶」を開催 ・12/17、静岡市で大河ドラマ「どうする家康」の最終回のPV開催 ・12/23～、静岡市葵区の葵スクエアで6年ぶりにスケートリンクをオープン ・12/25～、川根茶の御朱印帳「川根茶飲帖」を販売開始
2024年 (コロナ後)	・12/17～、富士山静岡空港と香港国際空港を結ぶ定期便が新規就航 (香港エクスプレス航空、毎週火、木、土曜日) ・12/21～、大井川鐵道が、SL食堂車「オハシ」の運行を開始 ・12/28、31、年末年始に富士山静岡空港と台湾を結ぶ双方向チャーター便が2020年3月以来、4年9か月ぶりに運航

10～12月の気象及び休日

	平均気温 (°C)			日最高気温 (°C)			日最低気温 (°C)		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
2019年	21.0	15.2	11.2	24.9	20.0	16.0	17.8	10.8	7.0
2020年	19.0	15.6	9.4	23.1	20.5	14.6	15.7	11.1	4.8
2021年	20.1	14.7	9.5	24.2	19.5	14.4	16.4	10.1	4.6
2022年	19.1	16.1	8.9	23.5	21.0	13.9	15.2	11.8	4.5
2023年	19.5	15.5	10.3	24.7	20.5	15.6	15.1	11.0	5.7
2024年	22.1	16.0	9.3	26.2	20.3	14.7	18.6	12.4	4.3

	降水量 (mm)			日照時間 (h)			土日祝日 (日)		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
2019年	622.0	124.0	110.0	122.8	193.2	161.7	10	10	9
2020年	204.0	25.5	12.0	160.7	198.1	214.9	9	11	8
2021年	94.5	90.0	92.0	175.2	217.8	229.7	10	10	8
2022年	87.0	189.5	33.5	163.2	184.0	225.7	11	10	9
2023年	174.5	124.0	86.0	221.1	198.8	214.7	10	10	10
2024年	326.0	238.0	0.0	139.7	158.7	253.7	9	10	9

※…気象データは静岡市

資料：静岡地方気象台ホームページ

10～12月のガソリン価格

	10月	11月	12月	前月比	前年比
2019年	146.5	147.4	148.9	+ 1.5	+ 1.8
2020年	134.5	133.4	135.2	+ 1.8	▼ 13.7
2021年	168.0	168.9	164.0	▼ 4.9	+ 28.8
2022年	169.6	167.3	167.3	± 0.0	+ 3.3
2023年	173.2	174.5	175.7	+ 1.2	+ 8.4
2024年	175.6	175.1	181.6	+ 6.5	+ 5.9

※…各月最終週の静岡県のレギュラーガソリン現金価格

資料：資源エネルギー庁ホームページ